

2024年12月期通期決算説明会 質疑応答

(回答者:西森社長)

Q1. 説明資料について、従来と異なり、セグメント別の業績や受注状況に関する資料の説明がなかった。このあたりも開示してほしい。

A1. ご指摘の通り、今回は従来の説明内容から大きくフォーマットを変えている。説明資料については、従来のセグメント別の表は情報が重複することが多く、少し冗長になってしまうというご意見があった。当社としても課題として認識しており、今回はウォーターフォール型で説明することにした。今まで開示していたセグメント別の表などは参考資料に入れているのでご覧いただきたい。本日、私(西森)からは概要をご説明したが、詳細は IR 面談や電話などで問い合わせただけければと思う。今回から IR 面談は基本 CFO が対応する体制としている。もちろん私(西森)の面談へのご希望がありましたら、対応させていただきたい。また、アンケートも実施するので、可能であれば回答をいただき、ぜひ率直なご意見をいただきたい。

Q2. 400人採用とのことだが、現時点でどれくらい業績貢献しているのか？

A2. 400人は国内 IT セグメントにて 2022年～2025年までの新卒採用数の累計計画となる。国内 IT セグメントの売上高成長額が2021年と2024年を比較して 53億円であり、そのうちの 30億円程度が新卒採用による売上高への貢献と考えている。一方、人的資本投資は 31億円としているので現時点で概ねイーブン、2025年度は2024年採用の技術者 100名以上が戦力化していくので、さらなる受注増が期待できるだろうと考えている。

Q3. 調整後 EBITDA の計算について、減価償却費、のれん償却費、株式報酬費用の2024年実績と2025年予想をそれぞれ教えてください

A3. 2024年減価償却費 5.98億円、のれん償却費 3.09億円、株式報酬費用 2.69億円
2025年減価償却費 6～7億円、のれん償却費3～8億円、株式報酬費用 3～4億円
決算説明資料、参考データの36ページに記載しているので詳しくはそちらをご参照いただきたい。

Q4. 2025年の営業利益率の見通し、方針について教えてください

A4. 営業利益は投資を継続することから幅があるが 36億円～43億円とみている。利益率は 6.2%～7.4%の範囲になるとみている。参考データの 36 ページに記載あります。

Q5. P24 の成長投資枠の残高は2025年に実行予定なのか？そうだとすると、今年の投資額がかなり多くなるようにみえます

A5. 課題である M&A の実行を実現できるよう推進している。2024年の M&A ソーシング500件の効果が出てくると思っている。残りの投資枠相当分についても、ぜひ今年度中に実行したい。

以上